



科学的体験学習の創造

学校と博物館の
効果的な連携を目指して

－文部科学省委託事業中間報告会－

日 時：平成20年12月26日(金)
10:00～13:00

会 場：日本学士院 総会議場(国立科学博物館 隣)
対 象：教育関係者(小中学校教員・教育委員会等)，
博物館関係者等 先着200名

参加無料

申し込み方法は裏面をご覧ください

● 講演

豊かな未来を創る理科教育への期待
有馬 朗人 元文部大臣

● 研究報告

開発プログラムの特徴と体系化の概要

● 事例報告

開発プログラムの事例紹介

● まとめ

授業に役立つ科学的体験学習のために

清原 洋一
文部科学省初等中等教育局
教育課程課 教科調査官

主催：文部科学省、国立科学博物館

後援：東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会、埼玉県教育委員会、全国小学校理科研究協議会、
全国中学校理科教育研究会、東京都小学校理科教育研究会、東京都中学校理科教育研究会、全国科学博物館協議会

<同時開催> 教員のための博物館の日 2008 (会場：国立科学博物館上野本館)

※詳細は国立科学博物館ホームページ (<http://www.kahaku.go.jp/>) にて順次お知らせいたします。

—科学的体験学習プログラムの体系的開発に関する調査研究—

平成20年3月に告示された新しい学習指導要領では、理科の改訂の基本的な考え方として、以下の項目が挙げられています。

- ① 科学に関する基本的概念の一層の定着
- ② 科学的な思考力・表現力の育成
- ③ 自然体験，科学的な体験の充実
- ④ 科学への関心を高め，科学を学ぶ意義や有用性を実感させる

これらをふまえ，国立科学博物館では文部科学省より委託を受け，学校の授業等で活用可能な科学的体験学習プログラムを開発しています。

■ 参加申込方法 ■

必要事項をご記入のうえ，メールまたはFAXでお申し込み下さい。折り返し，受付票をお送りいたします。

＜必要事項＞

- ・氏名
- ・フリガナ
- ・所属先名称
- ・連絡先（FAXまたはメールアドレス）

＜送信先・お問合せ先＞

国立科学博物館 展示・学習部

学習課 リエゾン担当

メール：museumforteachers@kahaku.go.jp

FAX：03-5814-9898

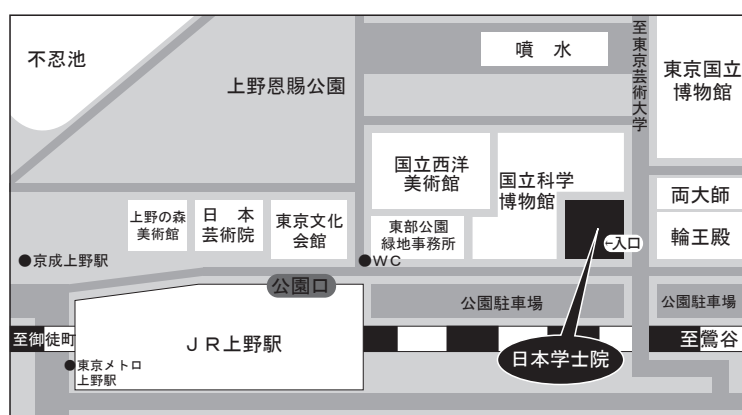
※先着順とさせていただきます。

※演題等は変更される場合があります。

※中間報告会の詳細情報は，ポータルサイト「授業に役立つ博物館」にて順次お知らせいたします。

「授業に役立つ博物館」 <http://museum4teachers.zkh.jp/>

＜会場へのアクセス＞



※ご来場の際には公共機関をご利用下さい。

「科学的体験学習の創造」参加申し込み書(FAX用)

氏 名

フリガナ

所属先名称

連絡先（どちらかにご記入下さい）

● F A X ()

(所属先・個人) どちらかに○

● メールアドレス
(携帯不可)

@

※ご提供いただいた個人情報は，本報告会に係る連絡および国立科学博物館が主催・協力開催する事柄に関するご案内等をお送りする以外に利用することはありません。

FAX 03-5814-9898 ↓こちらの向きに送信して下さい。